

## 公立大学法人横浜市立大学 NMR 装置群共用に関する会員利用規約

### 1 用語の定義

- (1) 会員とは「A 会員利用」、「B 会員利用」、「C 会員利用」枠に所定の申込書を申請し、許可を受けた者とする。
- (2) 「A 会員利用」とは、年会費として 1 口 1,000 万円の費用を負担し、950MHz NMR 装置を 7 週間相当分、利用を可能とするものをいう。
- (3) 「B 会員利用」とは、年会費として 1 口 500 万円の費用を負担し、950MHz NMR 装置を 3 週間相当分、利用を可能とするものをいう。
- (4) 「C 会員利用」とは、年会費として 1 口 200 万円の費用を負担し、950MHz NMR 装置を 1 週間相当分、利用が可能とするものをいう。

### 2 利用可能対象装置

- (1) 950MHzNMR:  
溶液感度 12,270 (0.1%EB)、LC-NMR 装置付き (測定例 0.03  $\mu$ g, 8 分: 旧 700MHz LC-NMR の感度約 100 倍)、固体 NMR 装置付き (1.3mm  $\Phi$ , CP-MAS 固体感度グリシン 125, 固体 500MHz の約 3 倍, 参考: 旧 900MHz 固体グリシン感度 108)
- (2) 800MHzNMR: 480 本オートサンプラー付き自動測定のみ可能
- (3) 700MHzNMR: 感度 7,476 (0.05%TFT) の H-F/C/N 溶液プローブ (参考: 通常の 600MHz の  $^{19}\text{F}$  感度 1,000 程度)、16 本オートサンプラー付き自動測定、LC-NMR 等可能

### 3 利用日数

- (1) A 会員利用
  - ① 950MHz 7 週間分の利用権利付与。うち 2 週間分以上は 950MHz の利用が必須。
  - ② 950MHz (1 週間分利用) に合わせて 800MHz や 700MHz を利用する場合は、950MHz 1 週間相当分を 950MHz 5 日間と定義、800MHz は 7 日間 (1 週間分+2 日)、700MHz は 10 日間 (2 週間分) とする。
  - ③ 連続測定を行う場合、1 週間分の定義には土日に限り終夜測定を可能とする。ただし、800MHz の利用はオートサンプラーによる測定に限る。
- (2) B 会員利用
  - ① 950MHz 3 週間分の利用権利付与。うち 1 週間分以上は 950MHz の利用が必須。
  - ② 950MHz (1 週間分利用) に合わせて 800MHz や 700MHz を利用する場合は、950MHz 1 週間相当分を 950MHz 5 日間と定義、800MHz は 7 日間 (1 週間分+2 日)、700MHz は 10 日間 (2 週間分) とする。
  - ③ 連続測定を行う場合、1 週間分の定義には土日に限り終夜測定を可能とする。ただし、800MHz の利用はオートサンプラーによる測定に限る。
- (3) C 会員利用
  - ① 950MHz 1 週間分の利用権利付与。  
※連続測定を行う場合、1 週間分の定義には土日に限り終夜測定を可能とする。
  - ② 800MHz や 700MHz を利用する場合は、950MHz 1 週間相当分を 950MHz 5 日分と定義、800MHz は 7 日間 (1 週間分+2 日)、700MHz は 10 日間 (2 週間分) とする。

③ 連続測定を行う場合、1週間分の定義には土日に関り終夜測定を可能とする。  
ただし、800MHzの利用はオートサンプラーによる測定に限る。

(4) 1時間~24時間利用を全て1日利用とする。

ただし、1日は朝9:00~翌朝9:00とする。

(5) 測定を仕掛ける際、技術指導スタッフ立ち会いのもと実施する。また技術指導スタッフの立会いは月曜日から金曜日(但し休日は除く)の9:00-17:00とする。原則、これ以外の時間帯のNMR実験室への入室は不可とする。

#### 4 年会費

横浜市立大学は所定の申込書に基づき、所定の利用許可証とともに利用料請求書を発行し、利用者は指定期日まで年会費を支払う。年会費には、維持管理経費(液体ヘリウム、液体窒素、装置保守管理等※)、測定等の補助経費も含む。

**※950MHzの固体プローブを使用する場合、別途保守料金が必要となる場合があります。**

#### 5 利用支援

技術指導スタッフ等により次の各種支援を受けることができる。

- (1) NMR測定支援、測定代行
- (2) 企業からのリモート操作対応
- (3) 秘密保持契約による情報の非開示対応
- (4) NMR用標的タンパク質の生産から指導受託
- (5) NMR装置の最新の技術指導、及び利用者講習会の無料参加
- (6) NMR測定に伴う各種技術相談等

#### 6 利用期間

所定の申込書を申請し許可を受けた単年度の利用とする。

#### 7 その他

施設利用にあたっては「公立大学法人横浜市立大学NMR装置群共用に関する取扱要領」のほか、各種学内規定等に基づき適切に取り扱うこととする。